

小川赤十字病院 化学療法レジメン

対象疾患名 大腸がん

申請レジメン名 FOLFIRI+RAM 催吐リスク 中度

放射線治療併用	☐ 有	☒ 無	根拠文献	Lancet Oncol.16(5): 499-508(2015).
1コースの目安	1コース	14日	投与回数上限	☐ 有(回) ☒ 無

レジメン内容

No.	抗がん剤名 (溶解液等を含む)	標準的投与量	投与量注釈	投与方法	投与時間 (投与速度)	上限量	Day													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	生理食塩液	100ml		中心静注	ライン確保・フラッシュ用		○													
2	ボララミン注5mg 生理食塩水	5mg 50ml		中心静注	5分		○													
3	サイラムザ点滴静注液 生理食塩水	8mg/kg 250ml	*フィルター付きライン使用 全量250ml	中心静注	60分		○													
4	パロノセトロン点滴静注バッグ アロカリス点滴静注 デキサート注射液	0.75mg/50ml 235mg 9.9mg		中心静注	30分		○													
5	レボホリナート点滴静注用 生理食塩水	200mg/㎡ 250ml		中心静注	120分		○													
6	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 生理食塩水	150mg/㎡ 250ml	*レボホリナートと 同時投与	中心静注	90分		○													
7	5-FU注 生理食塩水	400mg/㎡ 50ml		中心静注	5分		○													
8	5-FU注 生理食塩水	2400mg/㎡ 150ml	*シユアフューザーポンプ使用	中心静注	46h		○													
9	デカドロン錠0.5mg	4mg/day		内服				分2	分2											

注意事項 * レジメン名は、似た名称を避けるため変更することがあります。 * このシートは1コース分が記載されています。 * 1回投与量の上限がある場合には上限量が記載されます。	備考 (化学療法に必ず併用される特殊な手技・化学療法の中止基準) デキサメタゾンは、耐糖能等によって適宜増減 サイラムザは忍容性認められれば、2回目を以降30分に短縮も可能。
--	---